

平成 25 年 4 月 1 日

平成 25 年度サモア草の根技術協力事業提案書 作成に係る事前調査実施報告書



実施国：大洋州 サモア独立国

派遣期間：平成 25 年 3 月 24 日（日）～ 3 月 29 日（金）

国立大学法人 北海道教育大学

目 次

I. 事前調査実施の背景

II. 事前調査実施の目的

III. 日程（実施済み）

IV. 団 員

IV. 活動内容

V. 面談者

VI. 活動内容

VII 総 括

別添 1 : Structure of Formation

別添 2 : Summary of JICA Grass-root Project proposed by HUE

別添 3 : Plan for the Location of Japanese experts would be dispatched(Draft)

別添 4 : Samoa Education System

別添 5 : 帰国研修員リスト

別添 6 : 関係者リスト

別添 7 : サモア短期滞在者の手引き

別添 8 : サモア地図

別添 9 : 写真

I. 事前調査実施の背景

昨年度 JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）に「初等理数科教育における問題解決型授業の展開」企画書を提出したが、不採択という残念な結果に終わった。

したがって、今年度再度本企画書を提出するにあたり、サモア国教育・スポーツ・文化省との内容協議及び初等教育現場調査（3パイロット小学校）を行うこととした。

また、カウンターパートになる教育・スポーツ・文化省及び活動を側面的に協力・支持してくれる、本学で研修・帰国した教員達と意見交換を図り、相手側の要望を反映させた形で内容を修正する必要があることから、今回の事前調査実施を実施した。

II. 事前調査実施の目的

- (1) 現地教育事情、特に先方指定のパイロット3校の現況及び当該校が位置する地区内（District）小学校の数、平均児童数、教員数等を具体的に把握し、パイロット校からの周辺地域への波及効果度を探る。
- (2) JICA サモア支所及び教育・スポーツ・文化省と意見交換を図り、より現地ニーズに即した内容に提案書を修正すること。

III. 日程（実施済み）

月日	時間	活動	宿泊
3月24日	14:10	ANA2154便 新千歳発	機内泊
	15:50	成田着	
	18:25	NZ090便 成田発	
	9:15	オークランド空港着（3/25）	
3月25日	14:00	NZ992便 オークランド発	Insel Fehmarn Hotel ウポル島
	18:55	サモア・アピア空港着（FALEOLO）	
	20:00-20:45	ホテル予約車で移動、ホテルチェックイン	
	21:00-22:00	打合わせ・翌日日程確認（夕食）	
3月26日	8:35	ホテル発	Insel Fehmarn Hotel ウポル島
	8:45-10:10	JICA支所訪問、草の根事業に係る打合せ	
	10:20-11:40	教育・スポーツ・文化省（MESO）訪問、意見交換等	
	12:00-13:30	昼食（JICA 佐々木所長と）	
	14:00-15:00	①小学校訪問（Falefitu Primary School-Matagi Princi.）	
	15:00-16:00	② " （Saina Primary School-Iosua Principal）	
	20:00-22:00	帰国研修員との会食（レストラン）	
3月27日	4:30-5:20	ホテル発（タクシー）	Jetover Hotel
	6:00-7:15	サバイイ島へ移動（船）Mulifanua 埠頭→Saleloga 埠頭	

	8:30-11:00	③小学校訪問 (Sala'ilua Primary School-Letusa Princi.)	サバイイ島
	12:00-13:00	昼食	
	PM	休憩	
3月28日	7:30-7:35	ホテル→Salelonga 埠頭 (車)	オークランド ド エアポート キーウイホ テル
	8:00-8:45	ウポル島に戻る Saleloga→Mulifanua フェリー	
	8:55-9:00	移動、空港へ (バス)	
		フリー (2時間前に空港イン)	
	13:25	NZ995 便 サモア・アピア空港発 (FALEOLO)	
	16:25	オークランド着	
	17:20-30	空港→ホテル 送迎車バン (空港より No. 24 へ call)	
3月29日	6:30-6:40	ホテル→空港 送迎車バン	
	8:45	NZ099 便 オークランド発	
	16:15	関西空港着	
	19:50	ANA1719 便 関西空港発	
	21:40	新千歳空港着	

IV. 団員

氏名	構成	職位
大橋 賢一	団員	北海道教育大学 旭川校准教授、 国際交流・協力センター構成員
仮谷 宣昭	団員	北海道大学 学務部国際課 国際交流・協力センター交流員

V 面談者

○JICA サモア支所

一支所長 佐々木 克宏 氏

一企画調査員 (総合援助調整) 川畑 博司 氏

○教育・スポーツ・文化省

一Mr.Gauna Wong(校長、中等カリキュラム課長)

一Ms.Faiaea Mulitalo Roache (校長、初等カリキュラム課長)

一Mr.Tafaomalo Sione (初等カリキュラム課理科)

一Mr.Savelio T.Ifopo (初等カリキュラム課算数)

一Mr.polataivao Irwin (ファレフィット小学校校長)

一Ms.Lino Tagiilima(アピア小学校校長、鳴門教育大学で4週間研修し帰国したばかり)

一シニアボランティア 早川 勝光 (高等教育アドバイザー)

VI. 活動内容

意見交換等の内容は下記の通りである。

○ JICA サモア支所

- ・ 昨年の技術提案書を見たが、よくまとまっていた良かったが、あれで落ちるとは。
最近予算が厳しくなり、競争率が激化していることも少なからず影響しているであろう。
- ・ ここサモアでは、小学校において体罰が当たり前の躰文化となっている。逆に体罰をしないと児童は先生を甘く見て全然尊敬しなくなる (JOCV 隊員)。
- ・ 小学校では1年生の内9対1でサモア語使用、2年生8対2、3年生7対3、・・・8年生で4対6、9年生以上 (中等) でようやく全員が英語を使える授業になる。
- ・ 小学校4年と6年生に“スペル”という全国学力テストがある。
- ・ 理科の実験ができない教員がほとんどの為、「マテリアルマニユアル」みたいのが必要である。
- ・ 過去 2005-2010 に実施した基礎教育理数科改善プロジェクト (SMIPBE) 中高等学校パイロット校ともリンクできればと思っているが、如何せん算数・理科の基礎教育 (初等) が欠如している。
また、1～5年生の用副読本を作成し、先日200冊教育省に手渡した。使用用途は先方にまかせてあるが、現場の教員に届いて皆で上手く活用して欲しい。
- ・ 研修員の選考においては、教育省からの推薦者に対して人事院が口を挟んでくることがあるので、パイロット校からの推薦者が、そのまま参加できるとも限らない。
- ・ 草の根事業を起こす場合、当地をモデルにし、他大洋州諸国にも応用できる汎用性の広い協力形が望ましい。とはいうもののフィジー、トンガと当地でも算数、理科の教育事情は全く異なる。
- ・ 中等教育で算数、理科実験を行うとしても、初等の基礎ができていないため上手くできない。
- ・ 子供を学校に行かせるのは裕福な家庭に限られる。制服費、昼食費 (PTA が差し入れる) 等の経費が嵩むため。私立は非常に高い。
- ・ 生活面として、安心して住むことの出来る住宅 (アパート) は、10万円ほどかかり、電気よりもガスが安い。米、醤油もあるが、調味料が無い。
- ・ キリスト教会が異様なほど人口から比較しても多い。敬虔な信者が多く、日曜は必ずミサに行く。教会への寄付も義務づけられている為、道で日本人を見るとたかってくる者もいるので要注意。

○教育・スポーツ・文化省

—初めに別添資料を使い、仮谷が草の根事業提案書の概要を説明した。

その後以下のとおり質疑応答を行った。

- ・ 当該事業の内容に関して、サモア側で何か要望などあるか？
→パイロット校が3校となっているが、理科2校と算数2校の4校でも可能か？
→可能である。サモア側から適切なパイロット校を提示してもらえれば。
- ・ 初等カリキュラム、評価課がカウンターパートでいいか？マネージャーはガウナさんで、調整者はシオネさんでいいのか？→それでいい。
- ・ 周辺校への知識、技術普及に関しては、どのような方法が効果的と思われるか？
→パイロット校でセミナーなどを開催して、集まってもらう形での普及が望ましい。
→その場合、地方からでかけてくるとして交通費支弁はどうするのか？

→教育省が負担する

- ・ 帰国研修員がネットワークを構築して研修会を開催していると聞いているが？どの位の頻度で開催しているのか？

→年に3～4回程開催している。

訪日研修での具体的な成果はあがっているか？

→学習指導案作成、研究授業実践、模擬授業検討会などが、帰国後大変役に立っている。実際に学習指導案など使用して授業を進めている者もいる。

- ・ 仮に当該草の根事業が JICA より採択された場合、執務室は手当てしてもらえるのか？

→ちゃんと以前から準備はしてある。後でお見せする。

- ・ JICA 初等理科教授法研修コースが、今年も10月2日～11月まで開催されるが、パイロット校から教員を送り出すことは可能か？

→正式なサモア側の推薦であれば問題はない。事業効果を高める為にも是非選出して欲しい。

- ・ JICA 訪日研修は同一人物が2回参加することは可能か？

→全国で教育のコースがあるが、異なる地域、コースであれば参加も可能である。実際、過去に3回来日した者も知っている。

○ パイロット校と周辺校の現状

【Falefitu 校（ウポル島）2009年研修参加 マタギ校長】

児童数・・・1～8学年 各学年2クラス 35名 約560名 教員18名

周辺（同地区）・・・10小学校 各校平均500名 教員18名

【Laulii 校（ウポル島）2007年研修参加 イオスア校長】

児童数・・・1～8学年 各学年2クラス 30名 約480名 教員16名

周辺（同地区）・・・10小学校 各校平均400名 教員16名

【Salailua 校（サバイイ島）レツーサ女性校長】

児童数・・・1～8学年 各学年2クラス 20名 約320名 教員10名

周辺（同地区）・・・7小学校 各校平均200名 教員6名

※絶対的に教員数が不足している。しかし、各教員（全員女性）は、情熱を持つ教員ばかり。

VI. 総括

実質現地滞在期間が3日間と短期間ではあったが、JICA 事務所よりは、現地の教育事情の情報を入手し、また当該草の根事業カウンターパートとなる教育・文化・スポーツ省初等カリキュラム課職員（帰国研修員）との意見交換からは、先方の明確な協力体制、姿勢、実施への渴望などを強く感じる事ができて良かった。

更に現在想定しているパイロット校を3校視察することにより、現場の雰囲気、教員と若干ではあったが意見交換を図る中においても、自分達の能力向上、初等教育のレベルアップを強く要望する熱意は感じとられた。パイロット校を3校から4校にしてはどうかという前向きな教育・文化・スポー

ツ省からの意見もあり、“百聞は一見に如かず”ではないが、実際自分の目で見ることにより、これから提案内容の方向修正を図る為にも貴重な訪問となった。

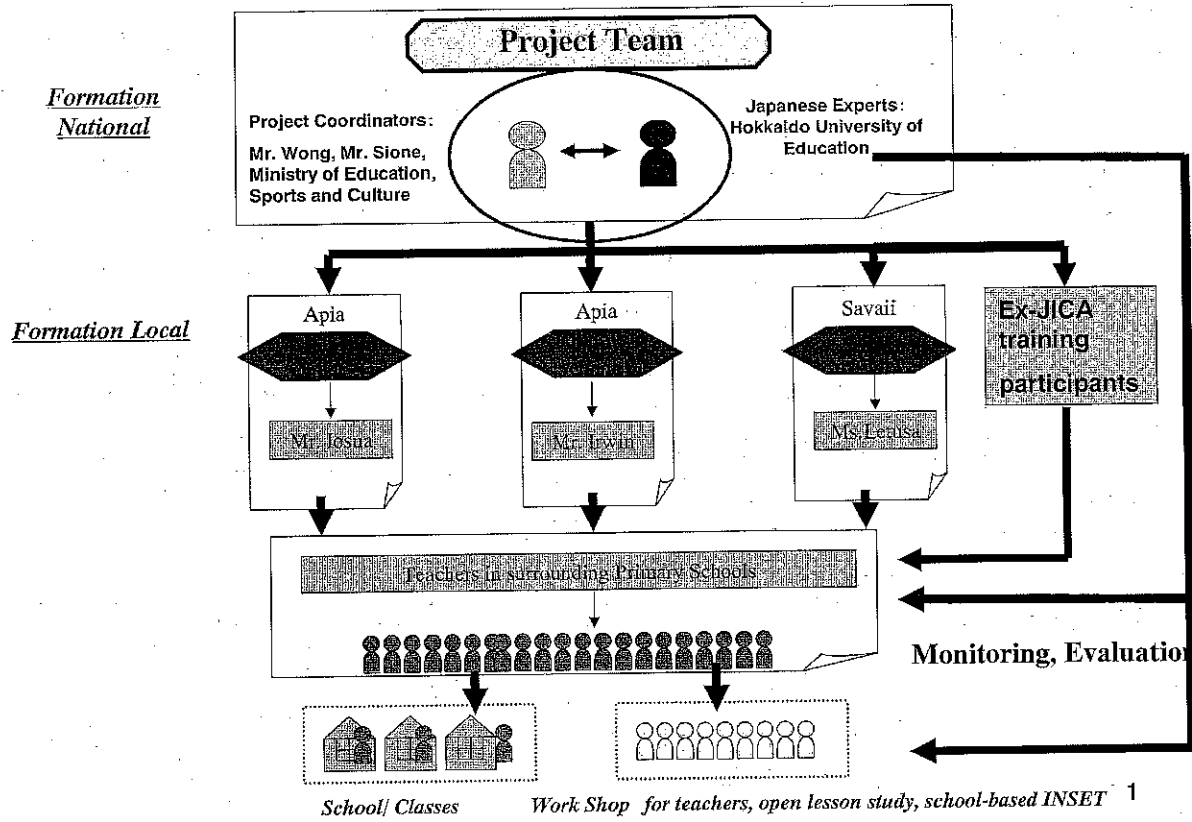
今回のアポイントメントは全て、昨年本学に研修来札していた算数担当者シオネ氏が中心となり、実施してくれた。また、ウポル島内移動に係る教育省の車両提供、サバイイ島への同行なども彼が行ってくれて大変心強い限りである。

あと1日でも余裕があれば、帰国研修員の現場を訪問し、活動状況の把握、本邦研修の効果・成果、課題などもヒアリングし、今後の研修員受入れの参考としたかった。

今後の予定としては、5月中に提案書の内容を再考・修正し、関係者の意見反映、内容修正、協力部門会議を経て、6月初旬へのJICA提出を目指すこととしたい。

以上

Structure of Formation



SUMMARY of JICA Grass-root PROJECT
 proposed by Hokkaido University of Education

i. Outline of the Project	Independent State of Samoa
1. Country	The Development of Problem Solving Lessons in Primary Science and Mathematics Education
2. Title of the Project	The academic performance of primary school pupils in science and mathematics is not high, so that higher quality of education is desired. Even in the strategic policies and plans, the improvement of education is regarded as a critical issue. To overcome this issue, various approaches have been tried but the approach to accumulate knowledge and skills of teachers in primary schools. Thus, it is necessary to strengthen the abilities of teachers in science and mathematics. As one of the strategies, developing problem solving lessons is effective to organize high-quality lessons.
3. Background and Necessity of the Project	To improve the quality of science and mathematics in primary education in Samoa
4. Overall Goal	Problem solving lessons shall be developed in the science and mathematics education in the 3 pilot schools and the surrounding primary schools.
5. Project Purpose	①Upolu Island: Faelefitu Primary School, Saina Primary School, surrounding Primary Schools ②Savaii Island: Salailua Primary School, Surrounding Primary Schools
6. Target Area	①Ex-JICA training Participants ②Teachers in three pilot schools ③Surrounding primary school's teachers
7. Target Group	< Expected Outcomes > ① Teachers in pilot schools will develop the methods of the problem solving lessons to each schools(classess). ② Teachers in pilot schools will study actively the instructional materials utilizing simple material and also easily to get them. ③ Teachers in pilot schools and surrounding primary school's teachers will establish the regional training system which will be held periodically for widen the knowledge and skills among them.
8. Expected Outcomes and Activities	< Activities > ① A team of experts for a short period will implement a trial lessons of solving problems with the open forum style in three pilot schools (including surrounding primary school's teachers). ② A team of experts for a short period will give instructions to 3 pilot school teachers how to make a practical materials for lessons utilized simple and easily to get it. ③ In order to strengthen teacher's ability for lesson study and making practical materials we will formulate a supporting team which consists of 3 pilot school teachers, Japanese Overseas Cooperative Volunteers and Japanese Senior pedagogical advisor. They are going to discuss periodically and exchange the opinions.
9. Project Duration	January 2014 –December 2016 (3 years)
10. Implementation Structure of the Project	Hokkaido University of Education provides knowledge and skills, and the project is driven by counterparts, the Ministry of Education, Sports and Culture in Samoa. The counterparts are school teachers who took a training course provided by the University, including the principals in the pilot school.

Plan for the location of Japanese experts would be dispatched(Draft)

Name (area in charge)	contents of job	J.F.Y.2013												J.F.Y.2014												J.F.Y.2015												2016											
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
Noriaki Kariya (Project Manager)	Management of Project, contract, etc.	[Shaded area]																																															
Michiko Mizuguchi (coordinator)	coordination, accounting,monitoring, making reports etc.	[Shaded area]																																															
A Teacher from attached school (Math.)	instruction for development of materials and study	[Gantt chart with bars]																																															
B Teacher from attached school (Scie.)	instruction for development of materials and study	[Gantt chart with bars]																																															
C Univ.Professor (Education)	School Management, Critical Management	[Gantt chart with bars]																																															
D Univ.Professor or SeniorAdvisor (Math.)	Make a teaching manual, trial lesson	[Gantt chart with bars]																																															
E Univ.Professor or SeniorAdvisor (Scien.)	Make a teaching manual, trial lesson	[Gantt chart with bars]																																															

process

①June:submit to JICA ② Oct.:JICA's acceptance

③Nov.: Samoa's acceptance

④Dec.:contract JICA-UNIV.

A&B: 10days C,D&E 20days or three months

[White box] preparation in Japan

[Hatched box] dispatched term




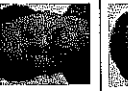



Samoa Education System

Age	Grade	
University	4	
	3	
	2	
	1	
Secondary	13	Pacific Senior School Certificate(PSSC)
	12	National Examination for "Samoa School Certificate" (SSC)
	11	
	10	
	9	
	8	National Examination for Entrance Secondary School
	7	
	6	SPELL Test-2
	5	
	4	Samoa Primary Education Literacy Level test: SPELL Test-1
	3	
	2	
1		
Primary	5 ~ 14	
Early Childhood Education (ECE)		
		Primary School
		Copulatory
		Secondary School









- 1) Samoa Primary Education Literacy Level test: SPELL Test
To measure and diagnose literacy level of the students
- 2) National Examination for entrance Secondary Education
To determine the qualification of the students to enter the secondary education
- 3) National Examination for "Samoa School Certificate(SSC)"
To certify the completion of Secondary Education
- 4) Pacific Senior School Certificate(PSSC)
Regional Examination administered by the South Pacific Board for Education Assessment (SPBEA)
Required for enrollment in tertiary institutions both locally and overseas

帰国研修員リスト

◎ 研修者

参加年度	写真	氏名	生年月日	勤務先	学歴
2007		Mr. IOSUA Turumi イオスマ 理科	Jul. 2, 1971	Principal, Ia'afili Primary School, Ministry of Education, Sports and Culture 教育・スポーツ・文化省 アフリカ小 学校校長	Western Samoa TTC (1993-1995, Education)
2008		Mr. MISA Aloose ミサ・アロオセ (ミサ) 算教	Jul. 30, 1969	Principal, Saia'itua Primary School School Operations Division, Ministry of Education, Sports & Culture 教育・スポーツ・文化省サイアイト 小学校校長	Teacher College (1991-1993, General-Primary School Education)
2009		Mr. POLATAVAO Irwin ポラタヴァオ・アー ワイン (アー・ワイン) 算教	Nov. 12, 1963	Principal, falefi'ua Primary School, Ministry of Education, Sports and Culture 教育・スポーツ・文化省ファレフィ ウア小学校校長	Primary Teacher College (1984-1985, General)
2010		Mr. FALETUTULU Anaeli ファレチチエチエ・ル・ア ヌエ (エチエ) 算教	Apr. 23, 1965	Saleimu'a Primary School Principal/School Operation, Ministry of Education, Sports & Culture 教育・スポーツ・文化省サレイモア小 学校校長	Teachers Training College (1984-1986, Math & Science)
2010		Mr. TAGHLIMA Lino タグリマ・ライノ (ライノ) 理科	Apr. 10, 1965	Principal, Api a Primary School Ministry of Education, Sports & Culture 教育・スポーツ・文化省アピア小 学校校長	Victoria University of Wellington New Zealand (1991-2001, English)
2011		Mr. POMARE Kiliave ポマレ・キラバエ (キラバエ)		Assistant Teacher/Vaagea Primary School, School Operation Division, Ministry of Education, Sports & Culture 教育・スポーツ・文化省ヴァイガガ小 学校教員	NUS National University of Samoa (1994-1996, Science & Mathematics)
2011		D-11-04464 算教 Ms. PALEPUA Seletonari パレプア・セネナリ (セネナリ) D-11-04465 理科		Assistant Teacher/ Apia Primary School, School Operation Division, Ministry of Education, Sport & Culture 教育・スポーツ・文化省アピア小 学校	NUS National University of Samoa (1999-2001, Science & Mathematics)

【サモア】その他の関係者リスト

写真	名前	職位	所属	電子アドレス	その他連絡先	備考
	中野 弘夫 Mr. Gauna Wong	Principal Education Officer for Secondary Curriculum	Curriculum Materials and Assessment Division (CMAD), Ministry of Education, Sports and Culture (MESC)	gauna_w@yahooe.onz		
	初子 法 Ms. Paiaea Multitalo Roache	Principal Education Officer for Science Curriculum	Curriculum Materials and Assessment Division (CMAD), Ministry of Education, Sports and Culture (MESC)			
	コーイネン Mr. Sione (シオネ)	Primary Mathematics Curriculum Officer	Curriculum Materials and Assessment Division (CMAD), Ministry of Education, Sports and Culture (MESC)	sione@mesc.gov.ws	Phone: 64600 Ext. 191	北教大担当(算数)
	Mr. Savelio T. Itopo (リオ)	Primary Science Curriculum Officer	Curriculum Materials and Assessment Division (CMAD), Ministry of Education, Sports and Culture (MESC)	siopec@mesc.gov.ws	Phone: 7738752	北教大担当(理科)
	Mr. Katsuhiko Sasaki 佐々木 克弘	Resident Representative 所長	Japan International Cooperation Agency (JICA) Samoa Office JICAサモア事務所	Sasaki.K.atauhiro@jica.go.jp	Tel: (+685) 22572 Fax: 22194	秘書 777-0222
	Ms. Naoko Laka ラカ 直子	Project Formulation Adviser シュニア専門家	Japan International Cooperation Agency (JICA) Samoa Office JICAサモア事務所	Laka.Naoko@jica.go.jp	Tel: (+685) 22572 Fax: 22194	
	Ms. Akemi Ooku 大奥 明美	Coordinator: JICA Volunteer Programme ボランティア調整員	Japan International Cooperation Agency (JICA) Samoa Office JICAサモア事務所	Ooku.Akemi@jica.go.jp	Tel: (+685) 22572 Fax: 22194	770-7252
	Mr. Masahiko Nakane 中根 雅彦	JICA シニアボランティア	派遣先: SMPBB: Science and Mathematics Improvement Project in Basic Education, CMAD, MESB	masahiko.nakane@gmail.com		

早川 勝光
(元鹿児島大学教授)

0

0

4.3.25
5-1

1.3.25
2.2.24

辞め

X 交代

サモア短期滞在者の手引き

1. JICA サモア支所

住 所 : Mulivai, Apia, Samoa
 郵便宛先 : P. O. Box 1625, Apia, Samoa
 電 話 : 22-572, 22-139
 FAX : 22-194

メールアドレス : sm_oso_rep@jica. go. jp

業務時間 : 月曜～金曜 8 : 00-12 : 00、13 : 30-16 : 30

(サモア政府機関の業務時間 : 月曜～金曜 8 : 00-12 : 00、13 : 00-16 : 30)

< JICA サモア支所関係者連絡先 >

- ・支 所 長 : 佐々木克宏 携帯 (+685) 777-0222
- ・企画調査員 (総合援助調整) : 川畑 博司 携帯 (+685) 770-1252
- ・企画調査員 (ボランティア) : 中元 則晶 携帯 (+685) 777-0221
- ・企画調査員 (ボランティア) : 大奥 明美 携帯 (+685) 777-1688

2. 日本大使館

日本大使館が平成 25 年 1 月に開設されました。

●在サモア日本国大使館

住所 : 仮事務所 Tanoa Tusitala Hotel Room No. 224
 Sogi, APIA

業務時間 : 8:30-12:00、13 : 00-17 : 15

電話 : (国コード) (地域コード) 685-21187 FAX : 685-21196

3. ホテル (注 : 消費税 : 15%)

Name	Tel	Fax	Address	宿泊料	特記事項
Aggie Grey's Hotel	22880	23202	Vaisigano	US\$130.00～	JICA レート 朝食付
Insel Fehmarn Hotel	23301	22204	Motootua	S\$229.50～ (税込)	キッチン付 朝食付 (JICA レート)
Tanoa Tusitala	21122	23652	Sogi	NZ\$175.00～	
Hotel Millenia	28284	28285	Sogi	S\$165.00～	
Hotel Elisa	21116	20536	Sogi	S\$240.00～	
Pasefika Inn	20971	23303	Matautu-uta	S\$115.00～	
Amanaki Hotel	27889	27981	Sogi	S\$190.00～	contact@amanakihotel.com

※ 料金は全ホテル税別

4. 現地通貨への換金

空港、ホテル、銀行で換金可能です。市内には、下記以外にも換金 (exchange) サービスを実施している所があります。

- ANZ (SAMOA) LTD : 営業時間 9 : 00-15 : 30 (木・金は、16 : 00 まで営業)
(Exchange Centre) 9 : 00-17 : 00 (土は、8 : 00-13 : 00)
- Westpac Bank : 営業時間 8 : 30-15 : 00

- 通貨単位 : 1 タラ (tala) = 100 セネ (Sene)
紙 幣 : (2), 5, 10, 20, 50, 100 タラ
コイン : 5, 10, 20, 50 セネ、1, 2 タラ
1 タラ ≒ 41.84 円 (2013 年 3 月 4 日現在、外国為替 TT レート)
1 タラ ≒ USD 0.4462 (2013 年 3 月 4 日現在、外国為替 TT レート)

(注) ANZ 銀行の場合、日本円からサモアタラへの現金換金はレートが非常に悪いため US\$ での換金を薦めます。

(注) 日本円からサモアタラへの換金は不可能な場合もあるので、換金用外貨は日本円以外の持参を強く薦めます。

● クレジットカード

VISA 等のクレジットカードは使用できますが、手数料 (10%程度 : 要確認) がかかる場合があります。

5. 国際電話

- ダイヤル即時通話が可能です。(携帯電話でも即時通話可能)

< 日本への通話例 >

0 (ゼロ発信) - 国コード (日本は 81) - 市外局番から 0 を除いた電話番号

(東京の場合) 0-81-3-*****-*****

(大阪の場合) 0-81-6-*****-*****

- 日本との時差 : + 5 時間 (2012 年 10 月 1 日～)
(4 月より、1 時間遅くなる冬時間が開始されます)

- 市内には公衆電話はないので、事務所貸与の携帯電話 (Digicel) を使用して下さい。
※ 私費任国外旅行のボランティアは、滞在中個人で行動される方に携帯電話を貸与します。

- プリペイド recharge/top-up (積み上げ) は、市内の携帯電話会社 (Digicel) 支店あるいは取扱

店で、電話番号提示の上その場で手続き可能です。

- 携帯電話用テレホンカード：市内各所で購入可能。（5, 10, 20, 50 タラ）

※カードによる recharge の方法

- ①カード裏の銀色部分をスクラッチして番号を出す
- ②*121*の後に数字を入力する
- ③数字の後に#を入力する
- ④通話 (send) ボタンを押す。
- ⑤recharge された額が表示されるので確認する

6. インターネット

ISP (Internet Service Provider) は 3 つあります。CSL 社 (Computer Service Limited) では、プリペイドのインターネット・サービスを行っています。

ISP 名	申込可能場所	料金体系
CSL	マクドナルド向かい	プリペイド有
Lesamoa	マクドナルドはす向かい、Lotemanu Center 内	完全従量制
iPasifika	アピア港そば	

また各 ISP がインターネットカフェを開設しています。

7. タクシー

タクシーの数は比較的多く、ホテル、街のタクシー乗り場で利用できる他、流しのタクシーもあります。ナンバーの最初が「T」で白い車体がタクシーです。

空港～アピア市内まで 50 タラ+程度、アピア市内 (近距離) で 3-5 タラ程度です。

DB Taxi Services	TEL 21-600	Airport City Cab	TEL 22-380
City Central	TEL 20-824	YELLOW CAB	TEL 20-838

(※メーター制ではないので、乗車の際運賃の確認が必要です)

8. 航空機の利用

(1) 予約の確認

出国 72 時間前までにリコンファームする必要がありますので確認願います。

航空会社 : ニューゼーランド航空 TEL 20825
 エアーパシフィック TEL 22693
 バージンサモア TEL

(2) 出発搭乗手続き

飛行機搭乗のチェック・インは遅くとも 2 時間前までに行ってください。(1 時間前にチェッ

クインカウンターを閉じる会社もあり) アピヤ市内から空港までは約 50 分です。なお、出発便に合わせてマイクロバスが出ているホテルがあります(要予約)。

出国税は 65 タラです。チェックイン後、銀行カウンターで支払ってください。

9. レストラン

市内には多くのレストランがあります。但し、ホテル以外のレストランでは日曜日は営業していない所も多いのでご注意ください。詳細情報については別添をご参照下さい。

10. チップの習慣

ホテル・レストランともにチップ支払いの必要はありません。

11. ショッピング

パンダナスの葉で編んだかごやコースター他、木彫品、樹皮布等の民芸品があります。

また、ココナッツ石鹸、ノヌジュース、黒真珠などもお土産としてあります。

ホテルの土産物屋でも購入可能な物もあります。

- 商店の営業時間： 月曜～金曜 8：00-12：00, 13：00-16：30
- 土曜 8：00-12：00
- 日曜 休業

12. 娯楽

当地では、スポーツ以外に娯楽はほとんどありません。

●ゴルフ

ファレアタ(市内)、ファガライ(市内)とラ・ペニア(空港付近のアギーリゾートホテル隣：現在閉鎖中) 3箇所にあります。どこでもビジターでプレイできます。

9ホール S\$10- S\$15

18ホール S\$20- S\$25

カート S\$30

ゴルフ道具は、借りることができます。

●テニスコート

アピヤパークやホテルでプレイできます。1時間 S\$5 程度ですが、場所により値段に差があります。

●海

郊外の海岸で水泳、シュノーケリング、ダイビングを楽しむこともできます(各種のツアーがあり、ホテルで申し込めます)。海水浴の場合には必ず複数で行動し、危険箇所等事前に地元の人に確認してから行って下さい。潮流が速いので引き潮時には注意が必要です。

13. サモア語あいさつ

- *おはようございます (こんにちは、こんばんは) →Talofa lava !
(タロファ ラヴァ)
- *ありがとうございます→Fa'afetai lava (ファッアフェタイ ラヴァ)
- *さようなら→Tofa soifua ! (トファー ソイファ)
- *乾杯! →Manuia ! (マヌイア)
- *はい (YES) →loe (イオエ)
- *いいえ (NO) →Leai (レアイ)

14. 重要注意事項

- (1) シュノーケリング等の海水浴では、必ず複数で行動し、危険な箇所など地元関係者に事前に確認して下さい。また事前に新聞等での潮位の確認を忘れないようにしましょう。
サモアの海岸では潮の流れが複雑なところがあり、毎年のように観光客の水難事故が発生しています。(邦人の水難事故も 2007 年 7 月に発生しました。)
特にリーフの外は大変危険ですので絶対に行かないで下さい。満潮から干潮になる際に強い引き潮が発生しやすいので注意が必要です。また、シュノーケリングではできる限りライフジャケットを着用しましょう。
- (2) 当国では年々車両の数が増加している上、交通マナーや車両整備状況が悪いため、交通安全にはくれぐれも気をつける必要があります。レンタカーはお勧めしません。
- (4) 狂犬病の心配はありませんが、放し飼いの犬が多いので注意してください。
万一、咬傷を受けた場合は破傷風トキソイドの注射をお勧めします。
- (5) 消費税 (V. A. G. S. T) として、生活必需品を除くほとんどすべての物品、サービスに税金 15% がかかりますのでご注意ください。
- (6) 国際線フライトの時間変更 (または遅延) が時々ありますので、事前に出発時刻の再確認をお勧め致します。

別添

サモアにおける安全対策事項

はじめに

サモアは、1962年の独立以来、政権交代が常に合法的選挙で行われており、軍隊がなく、クーデターや暴動、テロの可能性が少ない国です。また、一般にマタイ（酋長）を中心とした家族主義により生活が成り立っており、地域ごとに治安が保たれており、犯罪も比較的少ない方です。

しかし、注意を怠ると犯罪に巻き込まれたり（マーケット周辺にはスリ多し）、思わぬ被害に遭う可能性も十分あります。当地での滞在中は、以下の点に留意して基本的な用心を心がけて、快適にお過ごしください。

1. 任国内でのリスク要因

（一般犯罪）

比較的犯罪は少なく、治安は良好に保たれています。凶悪犯罪の発生は少ないものの、金銭目的の空き巣等の盗難事件は頻繁に起こっています。バーなどでの置き引きの被害も報告されていますので荷物の管理には十分気をつけてください。また、酔客等による喧嘩には巻き込まれないように注意が必要です。

（事故・病気）

最近の車の増加に伴い、交通事故が多くなっています。特に飲酒運転、スピードの出し過ぎによる事故が多いようです。また、ビーチでの海難事故が時々報告されています。有害なイモガイ、アカエイ、オニダルマオコゼによる危険も考えられますので、浅瀬に入る際はビーチシューズ等を履くことをお勧めします。当地は、特に気をつけるべき伝染病等はありませんが、生水や魚介類による下痢疾患には注意する必要があります。

（その他）

騒乱、暴動等の集団暴力が発生する可能性は極めて低いと言えます。

2. 具体的な被害事例

当国では、次のような犯罪事例が過去に報告されています。

- (1) リゾートホテルに宿泊した際、日中、外出時に鍵をかけていたにも関わらず、バッグごと荷物を持ち去られた。
- (2) アピア市内で日中、車を止めて買物に出た際、バッグから財布を抜き取られた。
(日本人経営の旅行代理店前が現場であり、日本人目当てのスリと考えられる。)
- (3) 空港前からタクシーを利用した際、高額な運賃を請求された。
(乗車前に金額の交渉・確認をすることでトラブルを未然に防げます。)

- (4) バックパックを背負って一人で町を歩いていたところ、数人の若者が周りを取り囲み、体に触るなどをしてきた。振り切って逃げ安全な店の中に入って確認したところ、バックパックのジッパーが開いており中に入れてあったデジタルカメラが盗まれていた。
- (5) 深夜 2:00 ごろ、ナイトクラブから帰宅しようとしたところ、出口で酔漢にタバコをせがまれた。無視して帰ろうとして、歩き出すと 50m ぐらい離れたところで後から追ってきた 3 人の男に殴られデイバックを盗られた。
- (6) 深夜、外部の物音に犬がいたずらしているのかとドアを開けたところ、強盗に押し入れられ殴られた。
- (7) 土曜の午前中、一人でサモアの主要なハイキングコースを歩いていたら、若者に襲いかかられ、首をしめてバッグを盗られそうになった。
- (8) 金曜日の夜 12 時近く、ビーチロード沿いのナイトクラブで酒を飲み、Sogi のホテルまで一人で歩いて帰ろうとしたところ、政府庁舎前の暗がりでは 3 人組の賊に襲われ、殴られた上、バッグ、財布、携帯電話などを盗られた。

3. 短期滞在者が取るべき安全対策措置

- (1) 貴重品はホテルのセーフティボックス等安全なところに預けて、できる限り多額の金銭は持ち歩かないよう注意してください。
- (2) 喧嘩の多い深夜のディスコへの出入り、夜間の一人歩きは控えるように。
- (3) 道路事情、交通マナーが日本と比べ悪いので、運転はもとより道路の横断等にも注意が必要です。車は日本と同様、左側通行であり、交差点では右折車が左折車に優先します。また、三叉路では左折車は赤信号であっても前方の安全が確認できれば、左折可能です。
- (4) サモアは伝統的なマタイ制度が根強く残る村落社会であるので、地方では、何をするにもまず村のマタイ（酋長）の承認を得ることが必要です。また、ファレ（民家）の前を通る時には、内部を覗き見たり、無断で写真を撮るなどして、村民の感情を害さないよう注意してください。夕方のお祈りの時間や日曜日の礼拝の時間には特に静粛に通行するようにしてください。
- (5) 緊急時には、まず JICA 事務所（夜間は事務所長携帯電話）に連絡を取るようにし

てください。

* 緊急時の電話番号： ・ 警察—22222 ・ 消防署—994 ・ 救急車—996

* 緊急時の言葉

(日本語)	(サモア語)
・ 助けて—	フェソアソアニマイ (Fesoasoani mai)
・ 警察—	レオレオ (Leoleo)
・ 泥棒—	ガオイ (Gaoi)
・ 警察を呼んでくれ—	バラアウレオレオ (Valaau leoleo)
・ 消防車—	タアバレフイム (Taavale Fuimu)
・ パトカー—	タアバレレオレオ (Taavale leoleo)
・ 救急車—	タアバレファレマイ (Taavale Falemai)
・ 病院—	ファレマイ (Falemai)

地方村落部を除き、英語が一般的に通じるので、特にサモア語でなければならないということはありません。

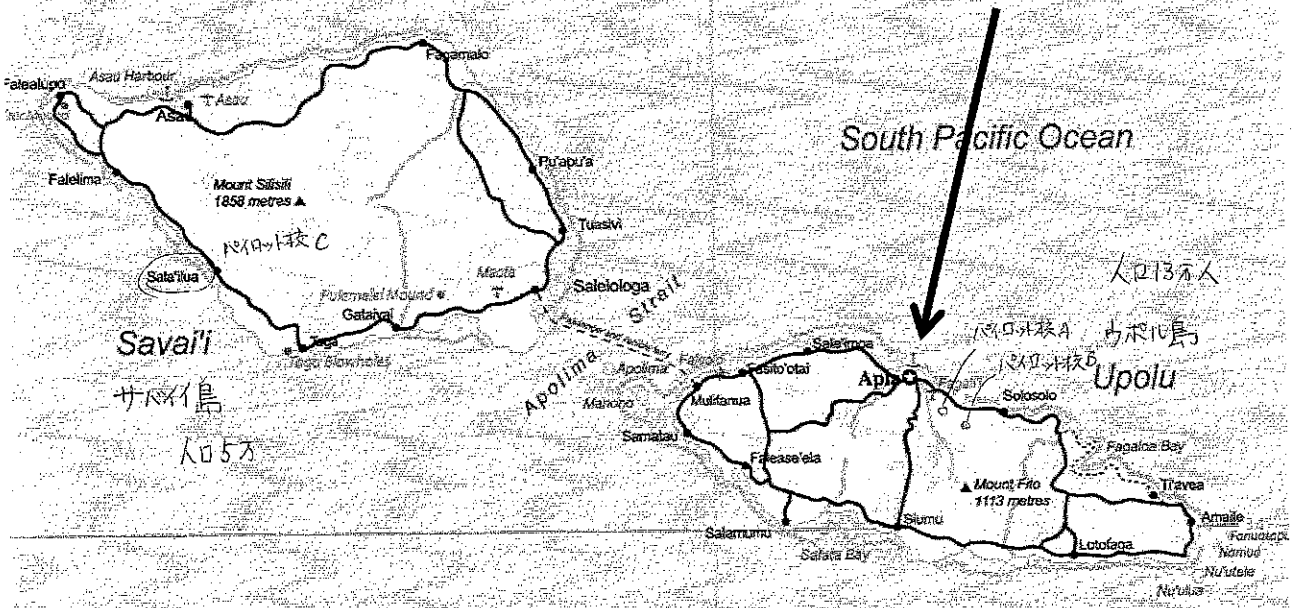
4. 国内・市内危険地域

当国では危険地域はありません。特に、アピアに比べて村落部では治安が安定しています。ただし、アピアでは夜間は、酔客により喧嘩や犯罪が起こりやすいナイトクラブ周辺（市内に数軒あり）では注意をして行動する必要があります。また、夜間は市内でも人通りが少なくなり、多数の犬が徘徊していますので、不要不急の歩行での外出は避けるようにしてください。

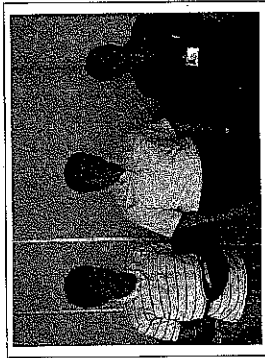
以上

MAP OF SAMOA

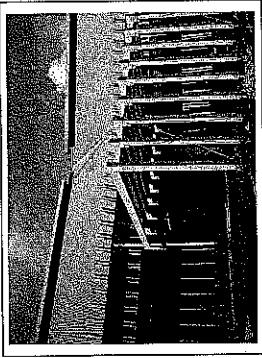
The capital of Samoa where the MESC is located



サモア写真



JICA 佐々木所長と



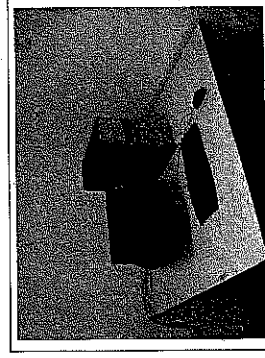
教育・スポーツ・文化省正面玄関



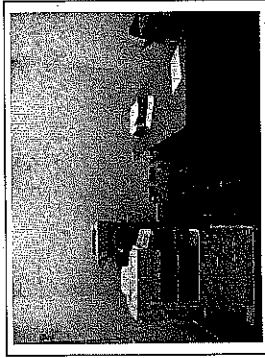
教育省での意見交換の様子



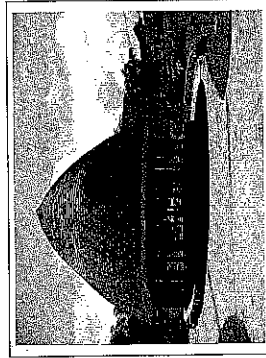
集合写真



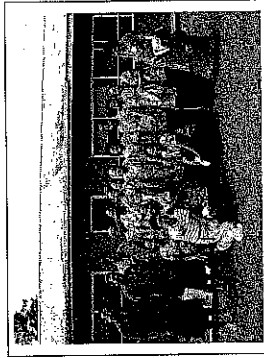
準備されている執務室



執務用共同利用のコンピューター・Fax



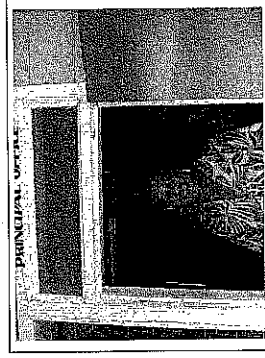
教育者内集会（打ち合わせ）場所
典型的な住宅もこの様にドアがない



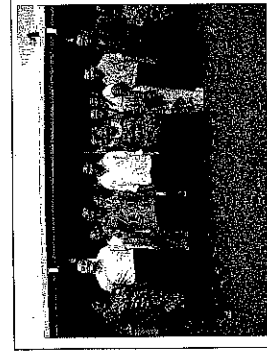
サイナナ小学校（イオニア校長）



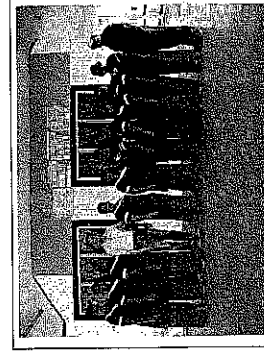
歓迎椰子の集ジュース（800ml 程）



フェアファイツ小学校校長（マタギ校長）



フェアファイツ小学校にて



サライア小学校にて